

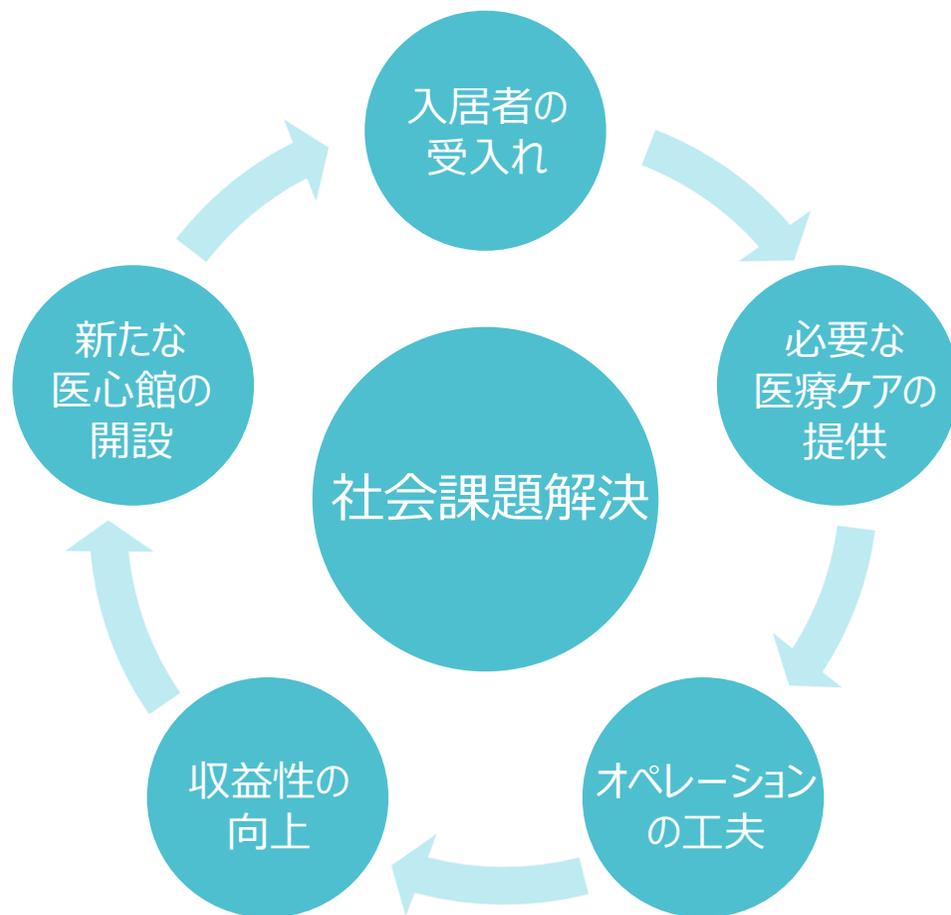


2023年9月期第1四半期  
**決算ハイライト**

株式会社アンビスホールディングス

2023年2月9日

## 社会課題解決型事業



国により入院日数の短縮と在宅への復帰が推し進められているなか、退院後の行き先にお困りのことが多い、がん末期の方、人工呼吸器の装着や気管切開で呼吸管理が必要な方、そして神経変性疾患を患う方などを、医心館は積極的に受け入れてきました。そして、これまで担当されてきた主治医やケアマネジャーの継続を原則とするなど、地域医療がよりうまく機能するためのサポーターであることを意識してきました。

私たちは、地域医療の一翼となるべく、医心館事業の更なる拡大を目指すとともに、医心館事業で得たノウハウや人財を活かし、疲弊した医療機関や介護事業者を様々な形でサポートすることにより、地域医療の強化・再生へ一層貢献していきたいと考えています。

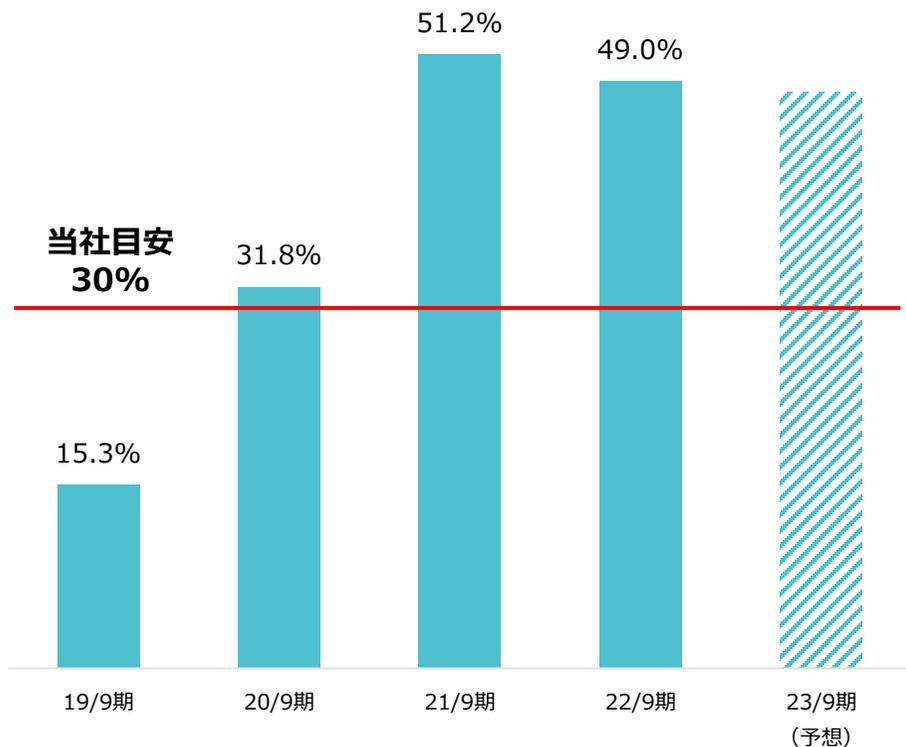
私たちの事業が、地域医療の活性化、医療従事者の疲弊軽減、医療の地域間格差の緩和の医療課題解決の一助になれば幸いです。

# 強固な財務基盤を維持し、更なる成長を企図

- 当社の自己資本比率の目安である30%を十分に上回る強固な財務基盤を維持
- Amvis 2025で掲げた積極的な開設方針に基づき、1株当たり当期純利益（EPS）の増加を企図

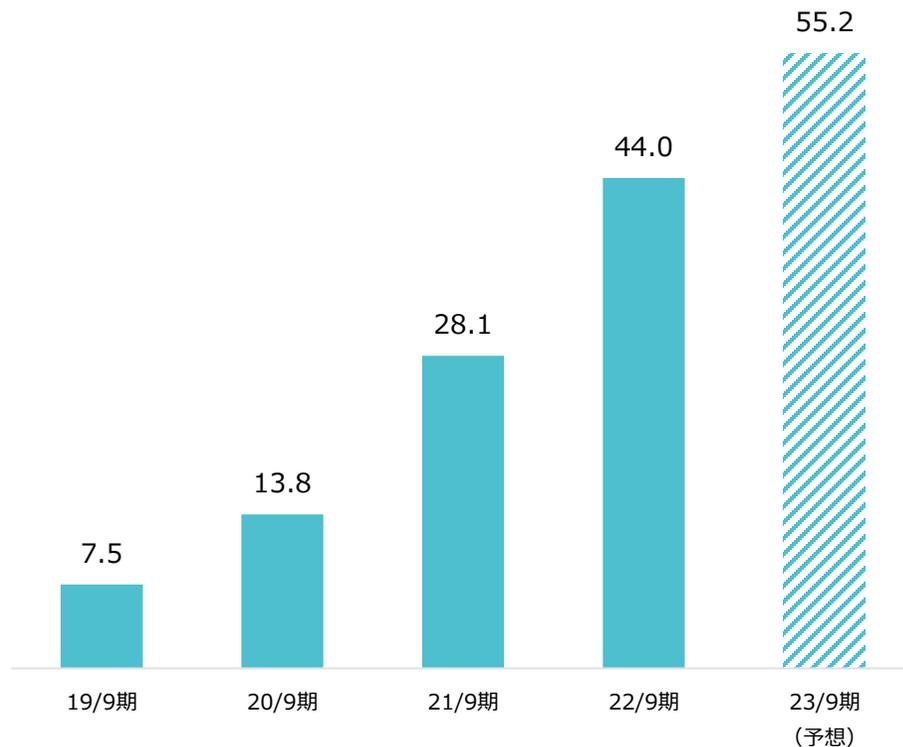
## 自己資本比率

(%)



## EPS<sup>(1)</sup>

(円)



注：

1. 20年4月1日付、22年1月1日付、22年10月1日付の株式分割考慮後のEPSを記載

- 11月から12月にかけて新型コロナウイルス感染症が再拡大し、職員、入居者含め多数の感染者や濃厚接触者が出たものの、24時間体制で看護師・介護士による安心・安全ケアの提供を継続
- 既存施設の稼働率は、安定稼働の目安である82~85%を上回る水準（88.1%）で推移し、新規施設の立ち上がりも順調であることを踏まえ、第1四半期の業績は通期予想対比でも順調に推移
  - ✓ 売上高：72.5億円（通期予想対比進捗率：23.7%）
  - ✓ 営業利益：19.8億円（通期予想対比進捗率：25.2%）
  - ✓ 当期純利益：13.9億円（通期予想対比進捗率：25.9%）
- 第1四半期の新規開設は、計画通り7施設の開設を実施し、22年12月末時点において、65施設（定員3,176名）を運営
  - ✓ 23年9月期：19施設の新規開設及び1施設の増床を予定している一方、23年3月に医心館 四日市を譲渡予定のため、23年9月末時点において、76施設となる見込み
  - ✓ 24年9月期：既に6施設の開設を公表し、3ヶ年計画で掲げている23施設の開設目安に向けて順調な進捗状況。今後も開設確定次第、順次公表予定
- 23年1月に、7年前に他業者より譲り受けた慢性期の入居者が中心の医心館 四日市の譲渡を公表。がん患者などの終末期や人工呼吸器対応など医療ケア度の高い入居者を対象とする施設の開設を促進（詳細は後頁参照）
- エネルギー価格高騰などを反映し、22年10月に実施した~3千円/月の1人当たり入居費の値上げに加え、23年3月に~4千円/月の追加値上げを実施予定

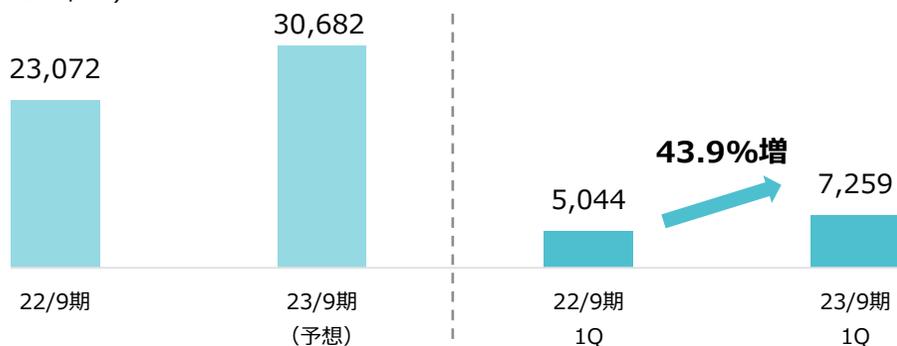
# 施設数・定員数の増加に伴い、売上・利益も着実に増加

- 前年同期末以降、施設数は17施設増加、定員数は約38%増加し、売上高も比例して増加
- 通期予想対比進捗率は売上高（23.7%）、営業利益（25.2%）、親会社株主に帰属する当期純利益（25.9%）のいずれも順調

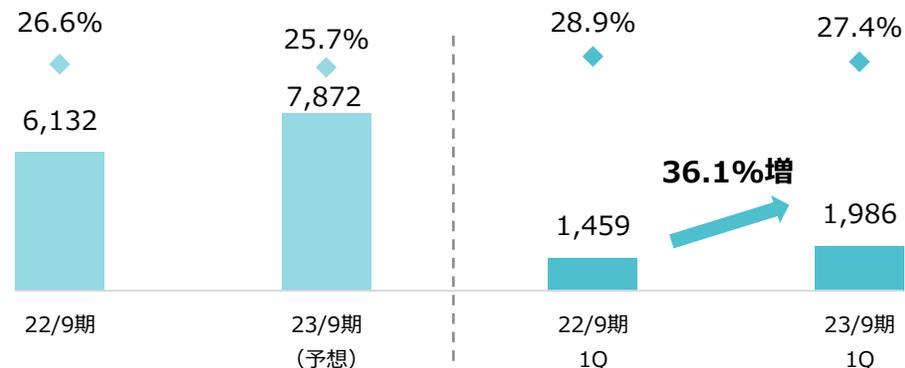
## 第1四半期実績及び通期予想に対する進捗

### 売上高

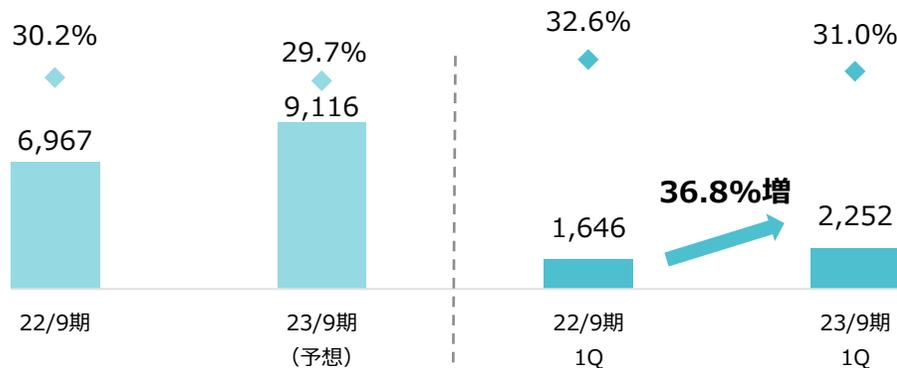
(百万円 / %)



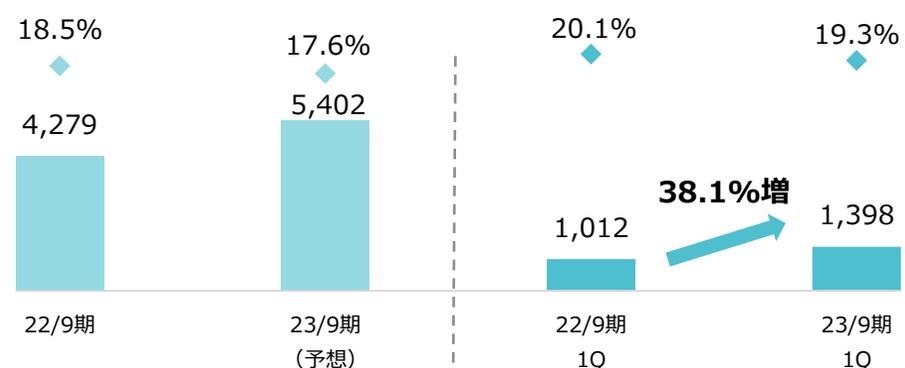
### 営業利益



### EBITDA



### 親会社株主に帰属する当期純利益



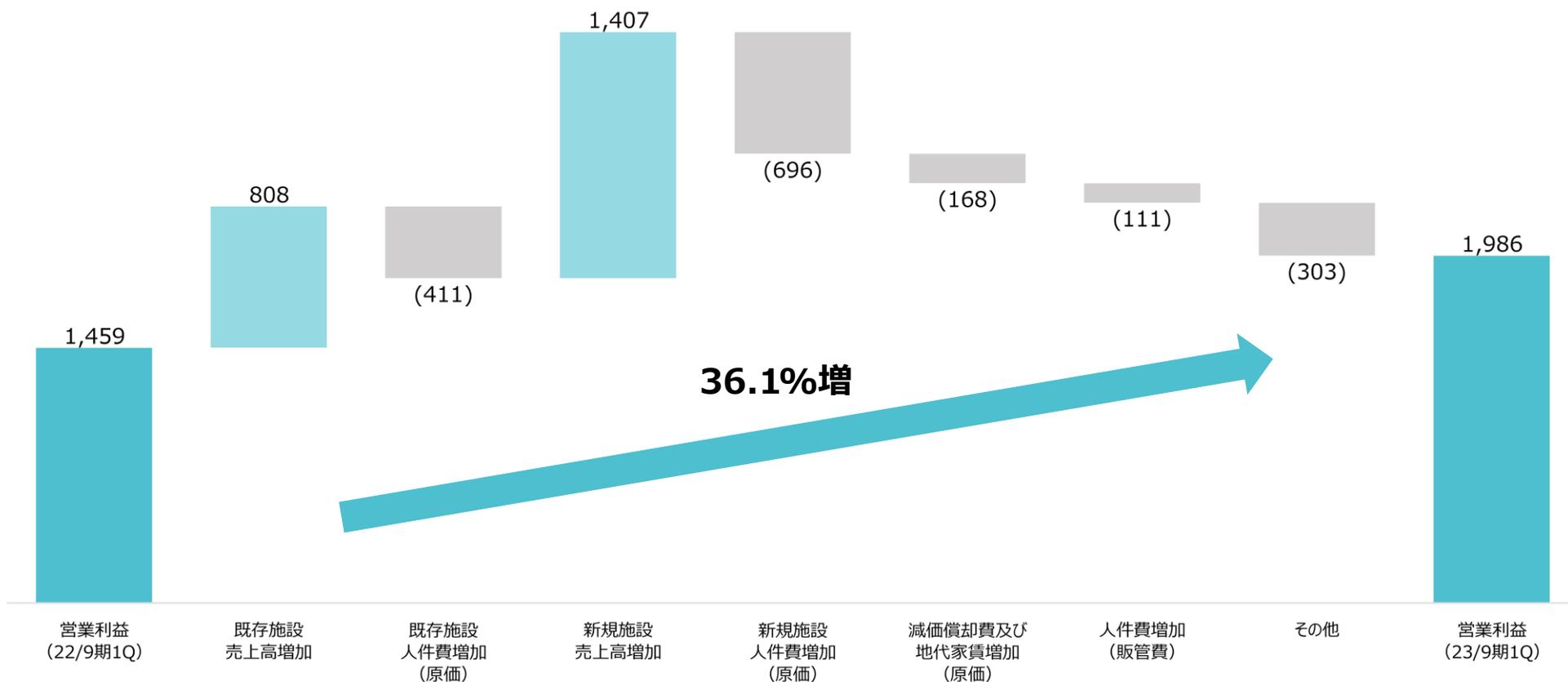
◆ : 売上高比

# 既存施設・新規施設共に稼働率は安定して推移

- 既存施設の稼働率（88.1%）、新規施設の稼働率（55~60%）<sup>(1)</sup>ともに順調に推移
- 施設数の増加に伴い、営業利益は比例して増加（21年12月末：48施設、22年12月末：65施設）

## 営業利益推移（22年9月期第1四半期 – 23年9月期第1四半期）

(百万円)



注：

1. 新規施設：22/9期第1四半期末にて未開設の施設（後頁同様） / 稼働率：中央値

# 終末期の入居者を中心としたホスピス事業の運営を継続

- 四日市市においては、がん患者など終末期の入居者中心の医心館 四日市 II にてホスピス事業の運営を継続
- ホスピス業界のパイオニアとして、ホスピス事業が普及することに貢献

## 概要

- 23年1月16日、株式会社フレアスへの医心館 四日市の事業譲渡の決定を公表
- 医心館 四日市は、慢性期の入居者が中心で、小規模（定員28名）の施設
- 医心館の入居者、従業員及び各種契約はフレアスに引継ぐ予定

## 譲渡対象施設

施設名	医心館 四日市
定員数	28名
開設年月	2016年5月（他業者からの譲り受け）
譲渡価額	非開示（現金）

## 戦略的意義



- 終末期を対象としたホスピス事業への集中
- ホスピス事業の普及への貢献



- 在宅マッサージ・訪問看護・訪問介護事業と連携を図り、一気通貫したサービスを展開

## タイムライン

- 23年1月：本件譲渡を公表
- 23年2月：運営面、契約面での引継ぎを実施
- 22年3月：株式会社フレアスによる営業開始

- 23年9月期は19施設の新規開設及び1施設の増床（計1,021名）を予定
- 今後も、首都圏を中心とする既進出地域でのドミナント形成を加速する方針

## 直近のトピック

安城、大曽根、豊田	愛知県での展開加速
金沢	石川県内初開設

## 22年10月以降の開設計画（23年9月期）

開設時期	開設場所	総定員数 (名)
22年10月	千葉駅前、東札幌、横浜中山	171
22年11月	仙川、富士	99
22年12月	春日部、沼津	104
23年2月	鶴ヶ島	45
23年4月	藤沢、八事南山、つくばⅡ	154
23年6月	久喜、相模原	99
23年8月	大森、西船橋、八戸（増床）	147
23年9月	静岡Ⅱ、仙台八乙女、八王子、安城	202

## 全国の医心館



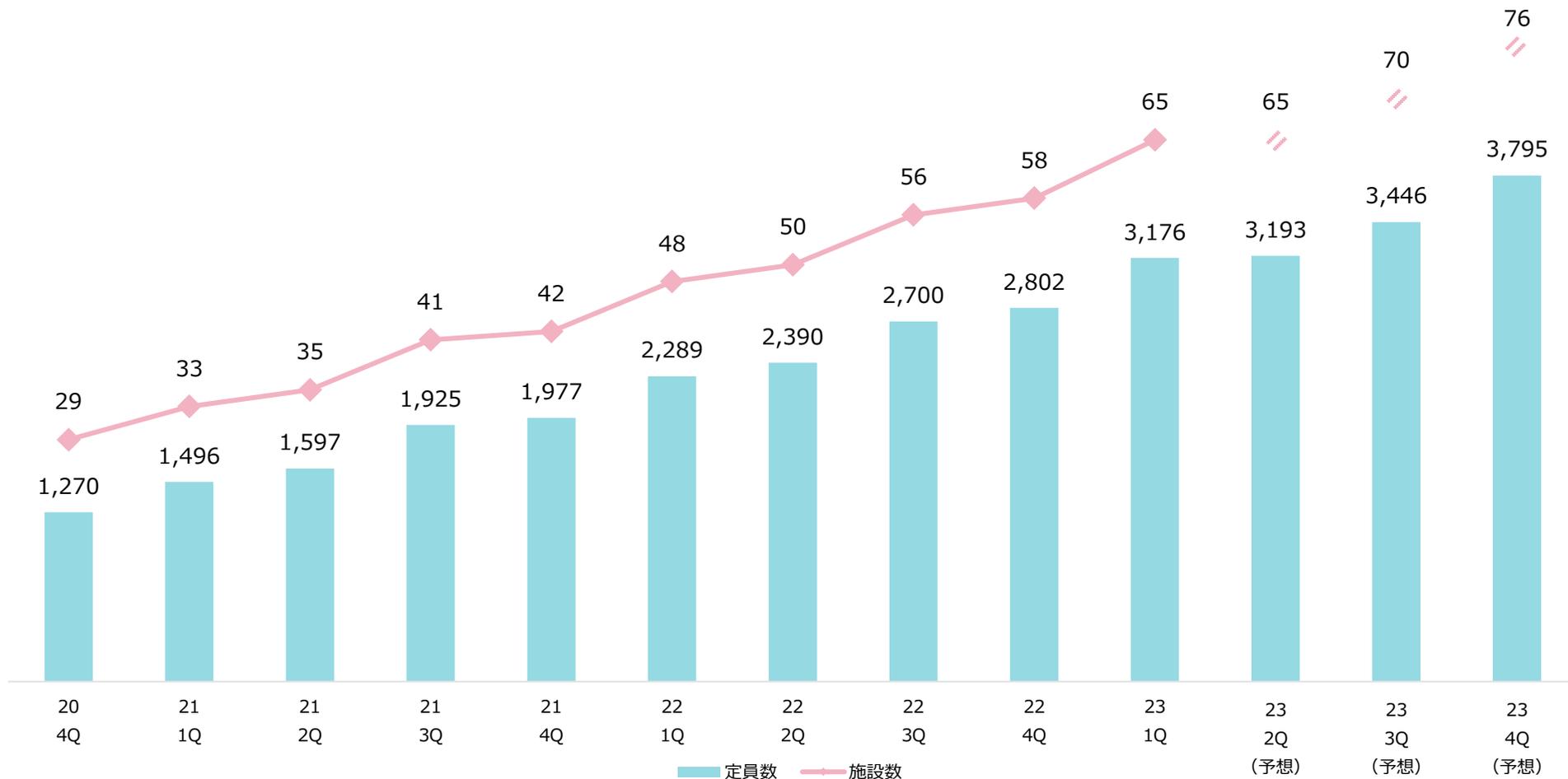
注：

- 総定員数は、複数施設の定員数を合計したもの
- 23年9月時点の施設数 / 定員数は、2023年3月に実施予定の、医心館 四日市（定員数：28名）の事業譲渡を考慮後の数値

# 四半期業績推移 – 施設数 / 定員数

## 施設数 / 定員数の推移(1)

(施設 / 名)



注：

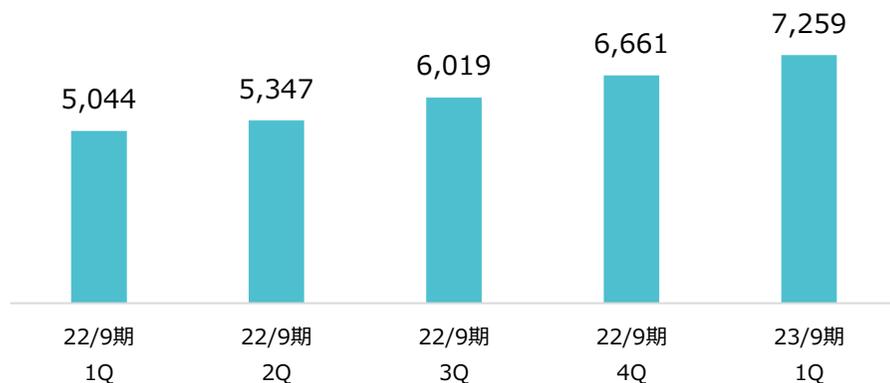
1. 23年9月期の施設数 / 定員数について、詳細は8頁参照

# 四半期業績推移 – 主要財務指標

## 直近1年間四半期業績推移

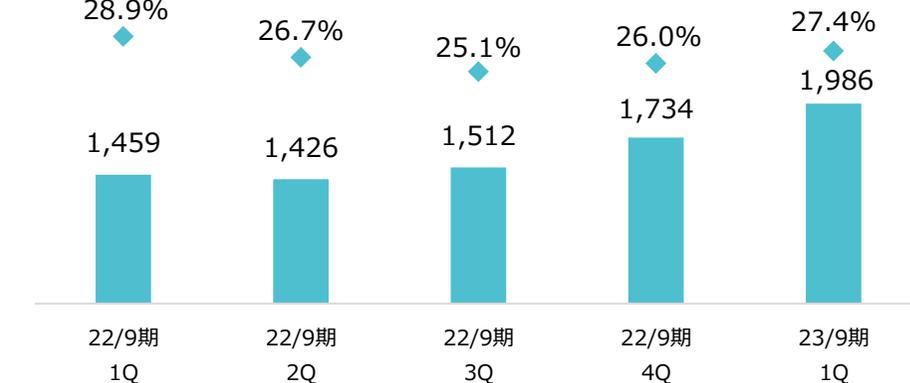
### 売上高

(百万円)

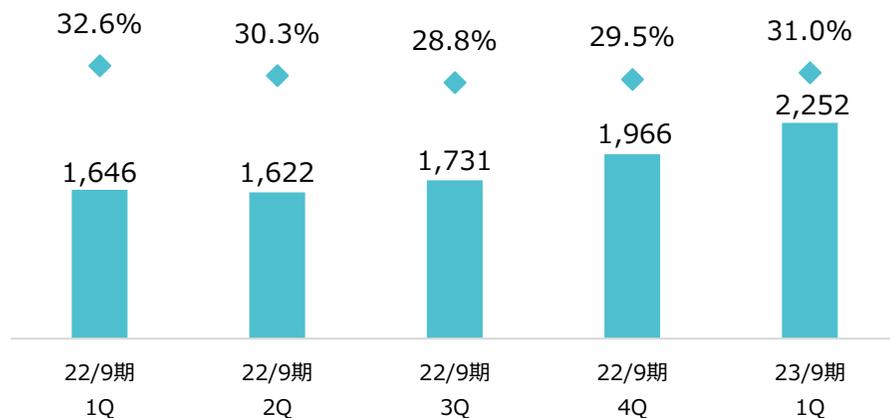


### 営業利益

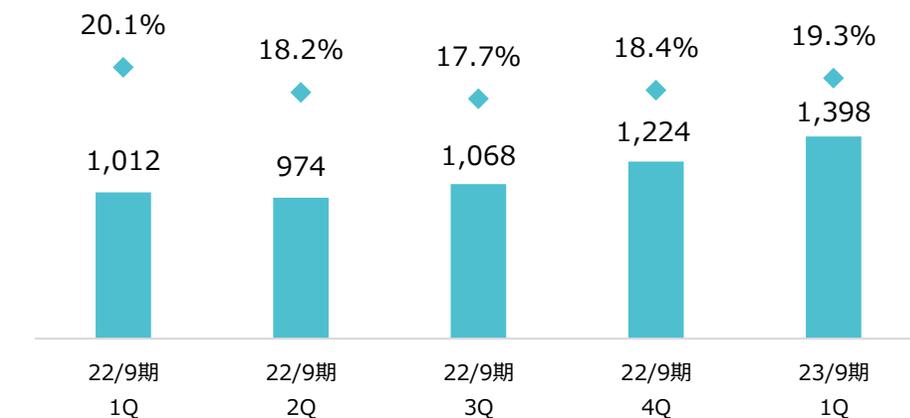
(百万円 / %)



### EBITDA



### 親会社株主に帰属する当期純利益



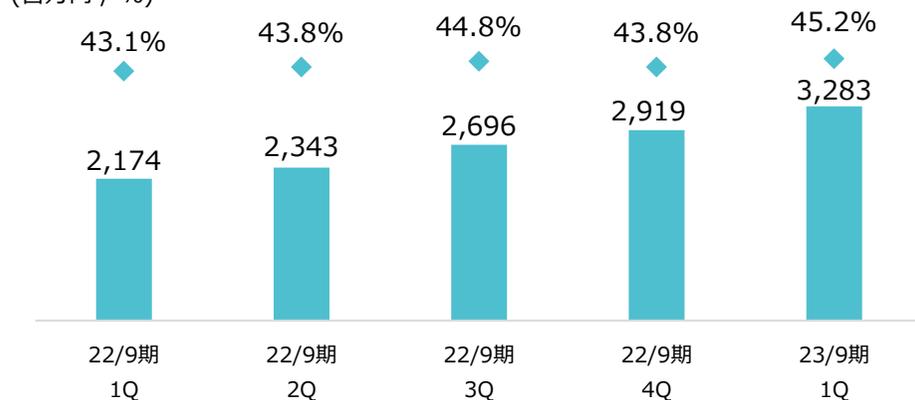
◆ : 売上高比

# 四半期業績推移 – 主要売上原価 / 販管費

## 直近1年間四半期業績推移

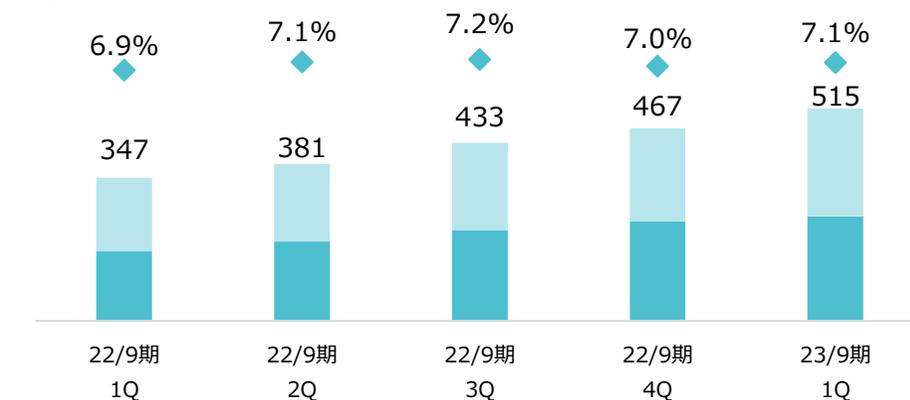
### 人件費（売上原価）

(百万円 / %)

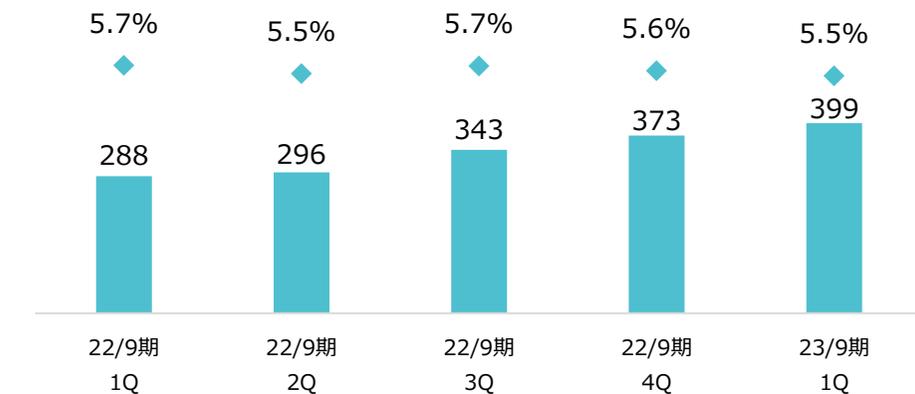


### 地代家賃及び減価償却費（売上原価）

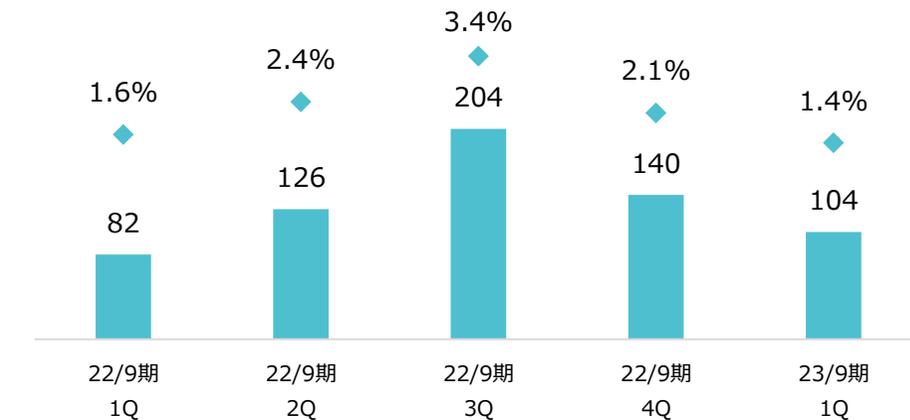
■地代家賃 ■減価償却費



### 人件費（販管費）



### 採用費（販管費）



◆ : 売上高比

## 財政状態概要

(百万円 / %)	21/9末	22/9末	22/12末	対22/9末 増減
資産	31,922	41,767	43,994	+5.3%
現金及び預金	11,192	11,342	10,378	(8.5%)
建物及び構築物（純額）	8,963	14,322	15,837	+10.6%
負債	15,580	21,308	22,425	+5.2%
借入金	8,967	12,711	14,399	+13.3%
純資産	16,341	20,458	21,568	+5.4%
自己資本比率	51.2%	49.0%	49.0%	+0.0pt



## 参考資料

---

## Amvis 2025目標

(25年9月末) 施設数 / 定員数

**127施設 / 6,328名**

23年9月末 (予想) : 76施設 / 3,795名  
22年9月末 (実績) : 58施設 / 2,802名

(25年9月期) 売上高

**523億円**

23年9月期 (予想) : 306億円  
22年9月期 (実績) : 230億円

(25年9月期) 営業利益

**122億円**

23年9月期 (予想) : 78億円  
22年9月期 (実績) : 61億円

(22-25年) 当期純利益 年平均成長率

**25%以上**

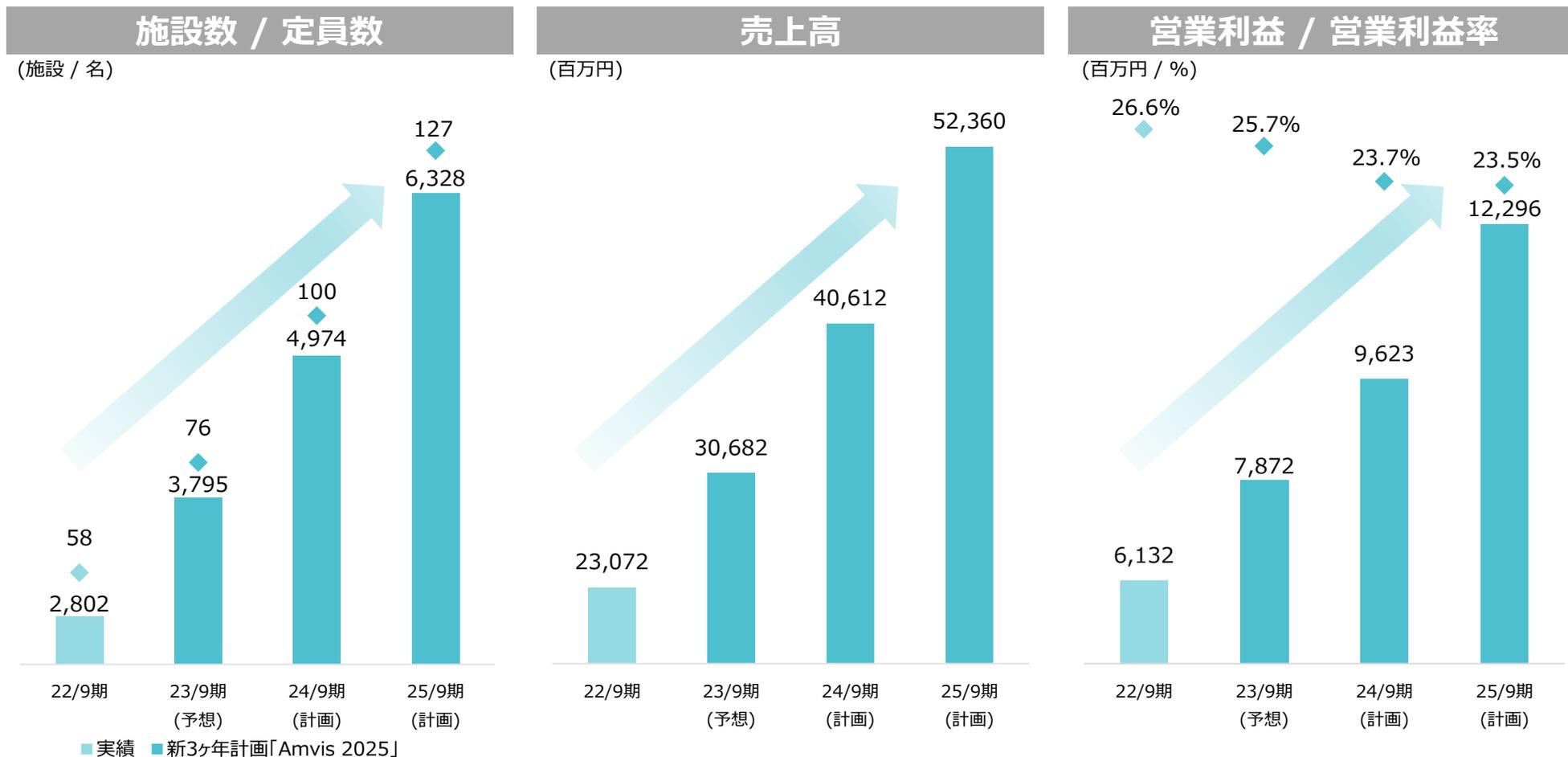
20年9月期-23年9月期 (予想) : 63%

注 :

1. Amvis 2025目標は2022年11月に公表した数値から変更なし
2. 23年9月末 (予想) の施設数 / 定員数について、詳細は8頁参照

# Amvis 2025 – 主要財務指標

- 首都圏のみならず、地方含め東日本全般に積極的に開設を進める方針
- 一方、首都圏の施設数の増加及びインフレの影響を踏まえ、利益率はやや低下することを想定



注：

1. 24/9期 (計画) 及び25/9期 (計画) は、2022年11月に公表した数値から変更なし
2. 23/9期 (予想) の施設数 / 定員数について、詳細は8頁参照

## 3ヶ年計画「Amvis 2025」

(億円)	21/9期	22/9期	23/9期	24/9期	25/9期
	通期	通期	予想	目標	目標
売上高	153.3	230.7	306.8	406.1	523.6
(対前年比)	+67.1%	+50.5%	+33.0%	+32.4%	+28.9%
営業利益	37.8	61.3	78.7	96.2	122.9
(営業利益率)	24.7%	26.6%	25.7%	23.7%	23.5%
当期純利益	26.2	42.7	54.0	65.2	83.3
(対前年比)	+112.0%	+62.9%	+26.2%	+20.8%	+27.8%

# TSR（株主総利回り）を重視した株主還元方針

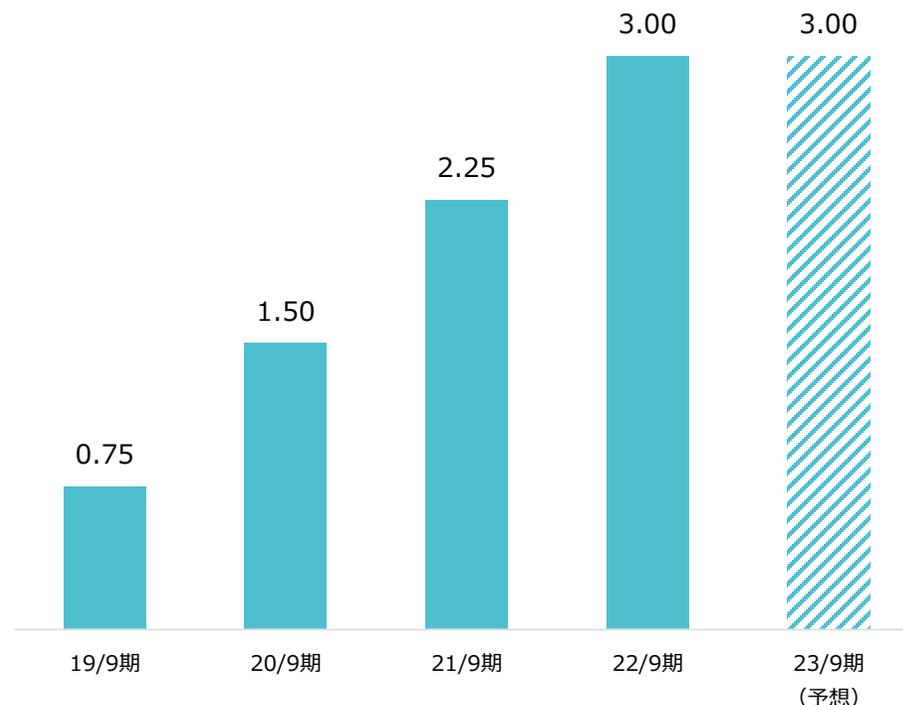
- 23年9月期は成長の加速を優先させるため、1株当たり配当金は現状維持を予想
- 中長期的に、TSR（株主総利回り）を重視し、成長ステージの変化に関わらず安定した利回り提供を企図

## 株主還元基本方針

- 株主に対する利益配分を重要な経営課題として捉え、医心館事業及びその周辺領域への事業展開と経営基盤の強化を図るための内部留保資金を確保しつつ、株主還元を実施し、企業価値の向上を企図
  - 株主配当：安定的な株主配当を基本とし、市場環境、規制動向、財務健全性等、総合的に勘案し、年1回の期末配当を実施

## 1株当たり配当金の推移<sup>(1)</sup>

(円)



注：  
1. 20年4月1日付、22年1月1日付、22年10月1日付の株式分割考慮後の1株当たり配当金を記載

本資料には、当社に関連する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述が含まれています。これらは、当社が現在入手している情報に基づく、本資料の作成時点における予測等を基礎として記載されています。また、当該記述のために、一定の前提を使用しています。当該記述または前提は主観的なものであり、将来において不正確であることが判明したり、実現しない可能性があります。このような事態の原因となりうる不確実性やリスクは多数ございますが、詳細は、当社の決算短信、有価証券報告書をご参照下さい。なお、本資料における将来情報に関する記述は、上記のとおり本資料の日付時点のものであり、当社は、それらの情報を最新のものに随時更新するという義務も方針も有しておりません。

## 【お問い合わせ先】

株式会社アンビスホールディングス 財務部（IR担当）

電話：03-6262-5085 / Email：ir\_contact@amvis.co.jp